

授業科目名・形態	老年看護方法論 I 演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	檜原登志子・渡邊知子・工藤智美・黒澤繭子	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

高齢者の老化 (Senescence セネッセンス) に伴う機能低下の日常生活変化に対し、健康を維持する為の支援を目的とする。又、多くの慢性疾患を持つ高齢者も増加の中、多く現れる主要症状を理解する為、病態生理、機能評価方法・尺度を用い必要なアセスメントを行い、生活者の視点から自立とセルフケアや QOL の向上を考え、その人らしい日常生活を送る為に持っている機能 (生活機能という) に対し、安全な技術や援助方法を学習する。

【到達目標】

1. 高齢者の老化に伴う機能低下の日常生活変化に対し、健康を維持する為の支援を理解できる。
2. 慢性疾患の主要症状とその病態生理を理解できる。
3. 機能評価方法・(指標・尺度)を用い必要なアセスメントを理解できる。
4. その人らしい日常生活を送る為の生活機能に対する、安全な技術や援助方法を理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回	老年看護援助の基本	(檜原)
第 2 回	高齢者のアセスメント	(檜原)
第 3 回	身体の老化変化とフィジカルアセスメントから看護ケアへ	(檜原)
第 4 回	〃	(渡邊)
第 5 回	〃	(渡邊)
第 6 回	高齢者によく見られる身体症状とアセスメント	(渡邊)
第 7 回	高齢者の生活機能を整える看護展開	(檜原)
第 8 回	高齢者によく見られる身体症状とアセスメント	(渡邊)
第 9 回	日常生活を支える基本動作能力のアセスメントと看護ケア (評価指標・尺度)	(檜原)
第 10 回	転倒のアセスメントと看護ケア・廃用症候群 (生活不活発病) の予防と看護ケア	(渡邊)
第 11 回	食事と看護ケア	(檜原)
第 12 回	排泄と看護ケア	(渡邊)
第 13 回	清潔と看護ケア	(檜原)
第 14 回	生活リズムと看護ケア	(檜原)
第 15 回	演習 (高齢者疑似体験を含む、技術演習)	(檜原・渡邊・黒澤・工藤)

【授業実施方法】

講義形式。必要に応じて (高齢者の立場に立って生活状況を考えるケア者になる為に、事例の視聴覚教材) 等を視聴して、状況を洞察し思考する。別に演習 (into aging 授業) の (高齢者疑似体験を含む) を実施する。

【授業準備】

授業で配布する資料や教科書で復習をし、理解を深めてください。

【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (精神科)」「リハビリテーションと看護」

【教科書等】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第9版, 医学書院, 2020

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 第5版, 医学書院, 2018

【参考文献】

ナーシング グラフィカ 改訂巻 「高齢者の健康と障害」、「老年看護の実践」, メディカ出版, 2021

山田律子他編:生活機能から見た老年看護過程+病態・生活機能関連図, 第2版, 医学書院, 2012/2015

亀井智子編集:根拠と事故防止からみた老年看護技術, 第1版, 医学書院, 2012/2014, 第2版, 2016

【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題学習レポート提出 10%、授業態度 5% の 総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院第3次救急、大学病院教育・研究で看護師、主任、師長の実務経験や認知症ケア専門士から、ケアを受ける人全て生命の安全第一、尊厳を持ち接し、安心と安楽な生活を支援できるケア者となるための学習支援をいたします。

【学生へのメッセージ】

高齢者の身体機能変化を病態理解し根拠あるケアを学び、その人の立場に立ち生活状況を理解し良いケアを学びます。のケア者から学ぶ姿勢を持つことは、福祉施設で学ぶ看護技術・介護技術の学習の力に代えられます。